

今後の取り組みの検討結果

1、課題

【課題 1】 従業員の大半は、介護経験がなく、介護に関する知識や制度に関してあまり知られていない。女性従業員が多く、今後の介護の可能性があると答えた従業員もいるため、将来的には介護に関してのニーズが発生する可能性がある。

【課題 2】 仕事と介護の両立について、仕事を続けられると思うとはっきり答えられたのは3人のみ。介護支援体制を整えて、社内で相談できる仕組みが必要。

2、検討状況

- ・地域の介護相談先などのサービスや介護休業制度等についてほとんど知られていないこと、介護発生後の予想がつかず、漠然と不安に思っていることが判明。介護に関するセミナーや情報を定期的に発信していくこと、個人面談などを検討。また、介護と仕事の両立のための短時間勤務制度やフレックスタイム勤務制度、有給の時間単位取得制度を検討

3、今後の取り組み目標

【目標 1】 今後、介護ニーズが発生した際に速やかに情報を提供できるように介護相談員は地域の介護相談・制度に関する情報の把握に努める事。
(計画期間等:情報の発信は平成28年度から年に1回程度実施予定)

【目標 2】 従業員の介護に関するセミナーの情報の提供を行い、希望者を募り参加。
(計画期間等:平成28年度から年に1回程度実施予定)

【目標 3】 希望者に対して個人面談の実施。
(計画期間等:平成28年度から面談希望者に対して随時実施)

【目標 4】 今後の業務拡大に伴う、人員増加に向け働き方の社内制度(介護休業規定作成、フレックス勤務制度、有給の時間取得等)を検討する。
(計画期間等:平成28年度・・社内制度(介護休業規定作成、フレックス勤務制度、有給の時間取得等)の検討
平成29年度・・社内制度(介護休業規定作成、フレックス勤務、有給の時間取得等)の試行的導入予定)

以上